

薬学研究院 原島秀吉教授が 国際薬剤師・薬学連合（FIP）の Høst Madsen Medal を受賞

2021年6月24日（木）、北海道大学大学院薬学研究院の原島秀吉教授が、国際薬剤師・薬学連合（The International Pharmaceutical Federation (FIP) : <https://www.fip.org/>）の最高科学栄誉賞である Høst Madsen Medal（<https://www.fip.org/awards#Host-Madsen-Medal>）を受賞することが発表されました。

2021年9月15日（水）（日本時間午後8時～）、オンラインで授賞式が執り行われ、その際に”MEND: From Controlled Intracellular trafficking to Clinical application for nanomedicines“ と題した受賞講演を行います。

原島教授の研究とキャリアについての詳細は、来月発行の International Pharmacy Journal にインタビュー記事として掲載される予定です。

【賞の概要】

FIP は、1912年に設立した薬剤師と薬学研究者の国際組織であり、世界保健機関（WHO）と公式に連携しています。146の加盟団体を通じ、世界中の400万人以上の薬剤師と科学者を束ねています。Høst Madsen Medal は、薬学の卓越した業績をたたえるために1年おきに授与されるもので、FIPの最高科学栄誉賞です。

【受賞理由】

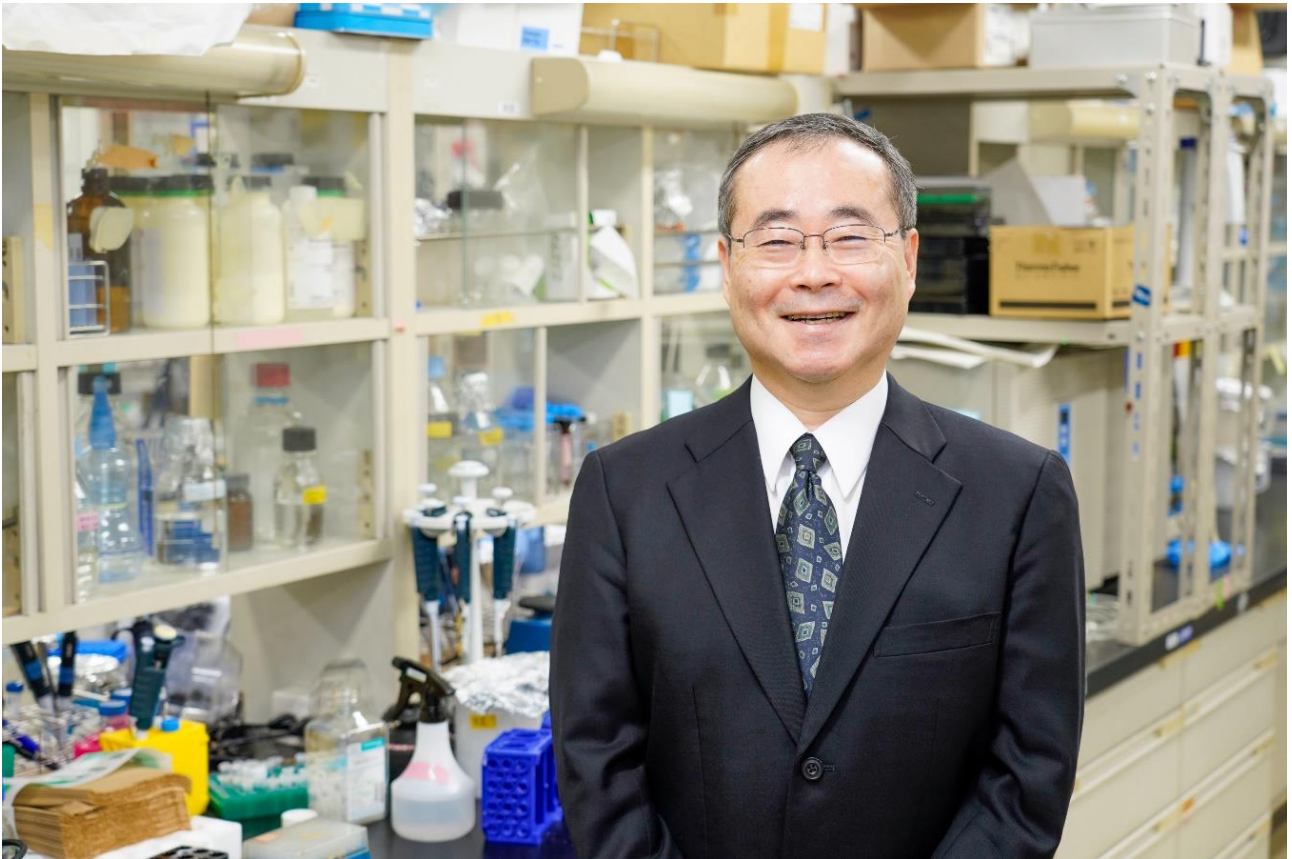
原島教授は、東京大学で薬学を専攻した後、30年以上にわたり、ナノ医薬、遺伝子治療、核酸医薬、ドラッグデリバリーの分野で活躍してきました。現在は、北海道大学大学院薬学研究院の薬剤分子設計学研究室の室長を務めており、2009年には未来創剤学研究室を立ち上げました。これまでに400以上の論文を公表しています。「多機能性エンベロープ型ナノ構造体」(MEND)を開発し、細胞内の輸送を制御したり、siRNA/mRNA/pDNAなどの遺伝物質の生体内分布を制御するなど、遺伝子治療や核酸医薬による病気の治療に役立てようとしています（参考：北海道大学リサーチタイムズ「時代を先取りしたナノ医薬で北大を遺伝子医療の拠点に」 <https://www.hokudai.ac.jp/researchtimes/2021/05/3-1.html>）。

FIPの薬学委員会の委員長であるロス・マッキノン教授は、「原島教授はドラッグデリバリーシステムの分野で非常に革新的な貢献をしており、名誉ある Høst Madsen Medal の受賞に最もふさわしい人物です。」と述べています。

【受賞者のコメント】

Høst Madsen Medal 受賞者のリストを見ると、論文や教科書で目にしたことのある著名な研究者が並んでおり、薬学者として以前から会ってみたいと思っていた方々ばかりです。この栄誉あるメダルを

授与されたことは、私にとって思いがけない光栄なことです。これを励みに、科学の世界で新たな挑戦を続けていきたいと思えます。



大学院薬学研究院 原島秀吉教授

お問い合わせ先

北海道大学大学院薬学研究院 教授 原島秀吉（はらしまひでよし）

T E L 011-706-3919 F A X 011-706-3473 メール harasima@pharm.hokudai.ac.jp

U R L <https://www.pharm.hokudai.ac.jp/yakusetu/index.html>

配信元

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール jp-press@general.hokudai.ac.jp